

第1回安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	第1回安曇野市行政改革推進委員会
2	日 時	平成22年7月29日 午前9時30分から午前11時40分まで
3	会 場	長野県安曇野庁舎301会議室
4	出席者	降旗会長、丸田副会長、浅見委員、市川委員、猿田委員、高橋委員、 寺島委員、藤原委員、保尊委員、横山委員、齊藤委員、宇留賀委員、 那須委員
5	市側出席者	土肥総務部長、古幡行政改革推進室長、堀内室長補佐、平林係長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成22年8月10日
協 議 事 項 等		
1	会議概要	
	(1) 開 会	(土肥総務部長)
	(2) 委嘱書の交付	(宮澤市長から委員へ)
	(3) あいさつ	(宮澤市長)
	(4) 自己紹介	(委員、事務局)
	(5) 会長及び副会長の選出	(会長に降旗委員、副会長に丸田委員を選出)
	(6) 議 事	・安曇野市行財政改革大綱(第一次)・行政経営改革プランの実施結果について ・第2次安曇野市行財政改革大綱・実施計画について
	(7) その他	
	(8) 閉 会	
2	審議概要(進行:降旗会長)	
		安曇野市行財政改革大綱(第一次)・行政経営改革プランの実施結果について
	会 長:	安曇野市の行財政改革の取組みの経過について、事務局の説明をお願いします。
	事務局:	安曇野市行財政改革大綱(第一次)・行政経営改革プランの実施結果として、プランに掲げた50の取組項目中45項目について目標等が達成され、達成率が90%であったこと、また、その効果額が500,185,063円であったことを報告。
	会 長:	ご質問等ございますか。
	委 員:	財政効果額の説明の中で、定員適正化計画による効果額から、正規職員削減に伴い増加した非常勤等職員の賃金等が控除されている旨の説明がありましたが、その増加額はどのくらいになるのでしょうか。
	事務局:	金額的なデータは持ち合わせていないので、後日関係資料を送付させていただきます。ただ、人数としましては、平成18年度と22年度を比較すると、74

人増加しています。

会 長：他にいかがでしょうか。

委 員：保育所給食の外部委託が行われていることにびっくりしました。私も保育現場の経験があり、将来国を担う子どもたちを健全に育てるためには、食育は大事なもので守るべきものと考えてきました。行財政改革も、費用対効果や経済性だけを求めるのではなく、「安曇野市をどうしていくか」という理念と申しますか、そうしたものは見失ってはいけないと思います。

事務局：保育所の給食調理につきましては、調理・洗浄業務のみを委託しており、園児の栄養バランスを考えた献立の作成は、市が責任をもって行っております。延長保育や障害児の受け入れなど、保育に対するニーズが高まる中で、園長の守備範囲は広がっておりますし、給食調理に従事する職員のほとんどが非常勤等職員であるという現状があります。また、給食現場における衛生管理と安全管理は確保していかなければなりません。これらを背景として、調理・洗浄業務を委託しております。

第2次安曇野市行財政改革大綱・実施計画について

会 長：今後、私ども委員が、その進め方や取組み方法について意見を述べていくこととなります。「今後の行財政改革の取組み」について、事務局の説明をお願いします。

事務局：第2次安曇野市行財政改革大綱・実施計画並びに平成22年度における行政改革の取組み方針を説明

会 長：ご質問等ございますか。

委 員：実施計画番号5に「くるりん講座への支援」とありますが、「くるりん広場」ではなく「くるりん講座」でよろしいでしょうか。

事務局：「くるりん講座」は、くるりん広場において各団体が毎月開催する講座の総称です。

会 長：よろしいですか。

委 員：この大綱を策定する際のパブリックコメントにおいて、「市民活動センターの管理運営は、NPOや市民活動団体でも可能であるので、“わの会”という固有名詞を使うべきではない。」という意見が寄せられ、それに対し市は「削除します。」と回答しています。“わの会”は、市民活動センターに参加・登録している全ての個人・団体からセンター運営のために選ばれた者の集まりの総称、呼称であり、特定の団体にあたるものではありません。全市民・全団体が登録すれば、市民全体で運営していくという概念であります。これは、市民活動センターの出発点でありますので、誤解を生じさせることのないようお願いいたします。

事務局：市民活動センターの管理運営方法について検討する際、市とパートナーシップ協定を結ぶ中でやっていただこうということで、市民のみなさんから“わの会”をつくっていただいた経過があります。市民活動センターにつきましては、新たにもう1箇所設置したいということもございます。“わの会”についての認識

は十分ございますが、この計画を踏まえ今回は削除させていただきました。

その他

会 長：時間も迫ってまいりました。その他に移りたいと思います。

今後の予定について、事務局から説明してください。

委 員：次回開催を10月下旬に予定しており、取組みの中間報告のほか、財政状況、定員管理についての説明を予定しております。

会 長：この他、特にお聞きになりたいことがあればお願いします。

委 員：今回の大綱では、コスト抑制が主となっていますが、「入りを図りて出るを制する」ということがございますが、いかに税収を増やしていくかということが重要な要素になると思います。そこで、昨年度策定した工業ビジョンの中で、企業の活力を増して税収面をどう増やしていくのか、その方策についてお聞きしたいと思います。

委 員：実質公債費比率を15%以下にしたいという説明がありましたが、実質公債費比率のほか多くの財政指標がありますが、それぞれの指標をもって、安曇野市の立ち位置と申しますか、安曇野市は県下19市の中でどの辺に位置するのか、安曇野市はどうかを教えてくださいたいと思います。

会 長：よろしいですか。

事務局：県内各市の財政指標は、議会9月定例会後に出揃いますので、一覧表にて提示させていただきますと思います。

この他、会議概要・委員名簿のホームページ掲載を確認

会 長：大変むし暑い中ご苦勞様でございました。これをもちまして、本日の議事を終了させていただきます。

閉 会（副会長）

行政サービスの質を落とさず行政経営をしていくということは大変なことだと思います。実施計画に示された目標が早く達成できるよう、皆さまと共に努めてまいりたいと思います。これをもって閉会といたします。